

令和2年度大阪府立富田林支援学校 第2回学校運営協議会【会議録】

日 時 令和2年11月30日(月) 13:30~15:30

次 第 1 開会、校長あいさつ

2 出席者紹介

3 授業見学

4 協議

(1) 授業改善

「ICT 機器を活用した主体的・対話的で深い学びの視点での授業づくり」

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

(3) 教育コミュニティづくりの取組み

令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰が決定しました。

(4) 防災体制づくり

①校内体制

②校舎内一次避難場所の確保

③災害備蓄品の再配置

5 その他

【委員・事務局】

委員

	名 前	役職等
1	松久 眞実	桃山学院教育大学教育学部 教授
2	神崎 尚美	富田林支援学校 PTA 会長
3	澤田 章	富田林市立東条小学校長
4	阿見 太津也	こんごう福祉センターしいのき寮長
5	成澤 佐知子	社会福祉法人 太子学園施設長
6	坪倉 浩治	南河内南障害者就業・生活支援センター長

事務局

	名 前	役職等
1	太田 正人	校長
2	大門 史朗	准校長
3	榮 仁寛	教頭（学校運営協議会事務局長）
4	大巻 雅彦	教頭
5	土田 佳博	事務長
6	増田 慎太郎	首席・高等部主事
7	中村 勉	首席・防災 PT 担当
8	関田 渉	首席・中学部主事
9	竹内 惇	首席・小学部主事
10	油井 優子	指導教諭

【協 議】

(1) 授業改善

- 新しい学習指導要領による授業の取組みが始まっている。
- 主体的、対話的で深い学びの視点での授業づくりである。
- タブレット端末とプロジェクターを活用した授業見学をした。(中2)
- 画像や動画をうまく活用し、生徒が興味を持ち楽しく理解できる内容だった。
- 教員も ICT の活用に慣れてきている。個人情報に配慮しながら進めている。
- 小学校では GIGA スクール構想で一人 1 台タブレット端末が整備される。ICT 活用の良さを研修している。

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

- 運動会の練習は熱中症についても配慮して取り組んだ。
- 大阪モデルが「レッドステージ」になった場合の学校の対応について説明。
- 学校で陽性者が判明した際の対応(学校ホームページに掲載)について説明。
- 各施設、事業所の取組みの紹介があった。
- 偏見や差別、いじめが生じないように、正しい知識に基づいた指導が大切である。

(3) 教育コミュニティづくりの取組み

- 令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰が決定した。
- 昨年度は文部科学省「地域学校協働活動」の表彰を受けた。
- 保護者のつながりづくりについては、本校の校区が広いので難しい面もあるが、よい取組みができています。
- 秋のミニ運動会は、卒業生の保護者有志が主体的に行っている。

(4) 防災体制づくり

- 昨年度から引き続き BCP(災害時における事業継続計画)の取組みをしている。
- 新型コロナウイルス感染症対策を考慮して見直している。
- 教職員の防災活動計画を作成している。
- 災害時の連絡方法は保護者一斉メールと学校ホームページで情報の共有をする。
- すでに新型コロナウイルス感染症に関する連絡なども保護者一斉メールと学校ホームページを活用している。

(5) その他

- 高等部の進路実習について
- 児童生徒数の増加について